

Digital Photo Printer

DS-ID400

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～8ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



- (1) スタンバイ状態にする。
- (2) 電源コードや接続コードを抜く。
- (3) お買い上げ店またはサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



高温



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示

目次

⚠ 警告.....	6
⚠ 注意.....	7
その他の使用上のご注意.....	8

第 1 章 概要

こんなことができます.....	9
最新の情報について.....	10
対応する記録メディアとファイルフォーマット.....	10

第 2 章 準備

付属品を確認する.....	12
各部の名称と働き.....	13
前面.....	13
背面.....	14
設置する.....	15
電源コードを接続する.....	15
プリントパックを取り付ける.....	15
プリントパックの取り扱いについて.....	15
プリントパックを取り付ける.....	16
プリントパックを交換する.....	17
プリントカートリッジを取りはずす.....	17
プリントパックを取り付ける.....	18
インクリボンが切れてしまったときは.....	18
つまった紙を取り除くには.....	18
記録メディア (SD カード / USB メモリー) の取り付け.....	19
起動と終了.....	20
起動.....	20
終了.....	20

第 3 章 設定

メニューを表示する.....	21
主なメニュー.....	21
使用する言語を選択する.....	22
証明写真プリントの設定をする.....	22
レイアウトを選択する.....	22
レイアウトの表示 / 非表示を設定する.....	22
プリントのカラー / モノクロを選択する.....	23
トリミングの設定をする.....	23

露出を自動補正する	24
ファイル情報をプリントする	24
ワイヤレス LAN SD カードを使ったプリントの設定をする	25
対応するワイヤレス LAN SD カードについて	25
付属のワイヤレス LAN SD カードについて	25
ワイヤレス LAN SD カードの設定をする	25
拡張 SD カードを使用する	26
拡張 SD カードのフォルダ構成	26
拡張 SD カードを作成する	26
レイアウトを追加する	26
ロゴを追加する	27

第 4 章 操作

撮影の準備をする	28
使用するデジタルカメラについて	28
撮影環境について	28
デジタルカメラにガイドラインシールを貼る	28
証明写真を撮影してワイヤレスでプリントする	30
撮影する	30
ワイヤレスでプリントする	30
プリントした画像を USB メモリーに保存する	31
記録メディアに保存した画像をプリントする	32
最後にプリントした画像を再プリントする（コピープリント）	33
パソコンからプリントする	33
パソコンにプリンタードライバーをインストールする	33
パソコンと接続する	33

第 5 章 メンテナンス

クリーニング	35
プリンター内部のクリーニング	35
プリントの調整をする	36
プリンターの画質を調整する	36
画質調整の各パラメーターについて	36
プリント位置を調整する	37
工場出荷時の設定に戻す	38
ファームウェアをアップデートする	38

付録

使用上のご注意	39
記録メディアについて	40
USB メモリーについて	40
レイアウト一覧	41

故障かなと思ったら	42
プリンター	42
ワイヤレス LAN SD カード	42
エラーメッセージ	43
仕様	44
アフターサービス	45



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグをもって抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはサービス窓口に交換をご依頼ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはサービス窓口にご依頼ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると火災や感電の原因となります。

取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。



指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を
与えることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

付属の電源コードを使用する

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。



指示

お手入れや運搬をするとき、または使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れや運搬をすると、感電の原因となることがあります。また、不用意な事故を防ぐため、使用しないときは電源プラグを抜いてください。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



指示

移動時にはコード類をはずす

電源コードや接続コードは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。移動時には、コード類をはずしてください。



高温

プリントカートリッジの装着口の内部に手を入れない

中にあるサーマルヘッドが熱くなっている場合があります、やけどの原因となることがあります。



指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



禁止

メモリーカードスロットをのぞかない

メモリーカードスロットをのぞき込むと、排出されたメモリーカードが失明やけがの原因となることがあります。



禁止

通気孔をふさがない

本機を布などで包んだ状態で使用しないでください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり火災や故障の原因となります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

人通りの妨げになる場所には設置しない

設置されたペーパートレイが通路に飛び出していると、通行人がぶつかってけがをするおそれがあります。



禁止

ペーパートレイなどを持って移動しない

ペーパートレイ、プリントカートリッジカバーを持って本機を持ち上げると、本機が壊れたり、落下してけがをしたりするおそれがあります。

その他の使用上のご注意

警告

本機は電源スイッチを備えていません。設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

概要

第

1

章

こんなことができます

本機は、市販のデジタルカメラで撮影した画像データをワイヤレス LAN SD カードを使って転送し、証明写真をプリントすることができます。

本機には次の特長があります。

ご注意

推奨するデジタルカメラについては、本機のお買い上げ店にご相談ください。

証明写真プリント

- 顔認識技術を利用して画像データの顔の位置や大きさを自動的に検出し、証明写真で要求されるサイズおよび顔の大きさに合わせて自動的にレイアウトします（23 ページ参照）。これにより、証明写真を簡単にプリントできます。
- あらかじめ用意されている基本レイアウトに加えて、オリジナルのレイアウトを追加することができます。追加するレイアウトは、付属のユーティリティソフトウェアを使ってパソコンで作成します（26 ページおよび DS ID Photo Utility の設定ガイド参照）。これにより、さまざまな用途の証明写真に対応できます。

ワイヤレスプリント（ワイヤレス LAN SD カード同梱モデルのみ）

- 同梱のワイヤレス LAN SD カードを本機とデジタルカメラの両方にセットすることで、記録メディアの抜き差しやケーブル接続をせずに、写真をプリントできます。プリントの際は、デジタルカメラで DPOF 機能を使ったプリント予約の操作を行います（30 ページ参照）。
- 本機に USB メモリーをセットしておくと、ワイヤレスで転送された画像データが USB メモリーに自動的に保存されます。保存されたデータの再印刷が可能です（31 ページ参照）。

ロゴ入りのプリント

ロゴや文字などお好みのデザインを SD カードに格納してスロットにセットしておくと、そのデザインを入れてプリントすることができます（27 ページ参照）。

パソコンからプリント

USB ケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、パソコンから送ったデータを本機でプリントできます（33 ページ参照）。¹⁾

- 1) パソコンと本機を接続する前に、付属のプリンタードライバーをインストールする必要があります。

最新の情報について

最新の情報については、DS-ID400 のサポートページ
(<http://dnpphoto.net/support-j/>) をご覧ください。

対応する記録メディアと ファイルフォーマット

対応記録メディア

本機は、次の記録メディアに対応しています。

- SD カード¹⁾
- USB メモリー²⁾

1) SDXC には対応していません。

2) セキュリティ機能を持つ USB メモリーには対応していません。

SD カードおよび USB メモリーについて詳しくは、「記録メディアについて」(40 ページ) をご覧ください。

対応ファイルフォーマット

本機で読み込めるファイルは、カメラファイルシステム規格 DCF 2.0 に準拠したでファイルで、次のファイルフォーマットに対応しています。読み込めるデータの最大サイズは、8,000 × 6,000 ピクセルです。

- JPEG

JFIF 4:4:4, 4:2:2, 4:2:0 (ベースライン JPEG)

※プログレッシブ JPEG およびグレースケール (8bit)

JPEG には対応していません。

Exif 2.2.1 準拠

- TIFF

Exif 2.2.1 準拠 (RGB 非圧縮)

(フォーマットのバージョンによっては、非対応のものもあります。また、パソコンで加工した画像は、再生できないことがあります)

1 回の操作で扱えるファイル数は、9,999 個までです。ファイルのパスが 200 文字を超える場合、および半角英数字以外の文字を含む場合は、ファイルを読み込めない場合があります。

TIFF など、ファイルサイズが大きい画像は、読み込みに時間がかかる可能性があります。

ファイルの日時が 1980 年 1 月 1 日以前、および 2079 年 12 月 31 日以降のファイルには対応していません。

DCF について

DCF は、「Design rule for Camera File System」の略称で、主としてデジタルスチルカメラなどの画像ファイルに関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に、社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) によって標準化された規格です。ただし、「DCF 規格」は、機器間の完全な互換を保証するものではありません。

商標について

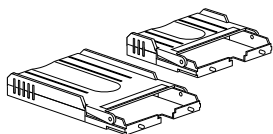
- SD、SDXC はSD-3C, LLC の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- TrueType フォントのラスタライズ処理は、FreeType Team のソフトウェアをベースにしています。
- 本ソフトウェアの一部は、Independent JPEG Group の研究成果を使用しています。
- Libtiff
Copyright © 1988-1991 Sam Leffler
Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee.
- Zlib
© 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler

準備

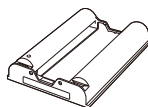
付属品を確認する

付属品を確認してください。

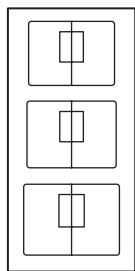
ペーパートレイ (2、大 / 小)



クリーニングカートリッジ (1)



ガイドラインシール* (1)



ワイヤレス LAN SD カード* (2)

(1 枚はプリンターの SD カードスロットに挿入されています)

電源コード (1)

フェライトコア (1)

CD-ROM (1)

ご使用になる前に (1)

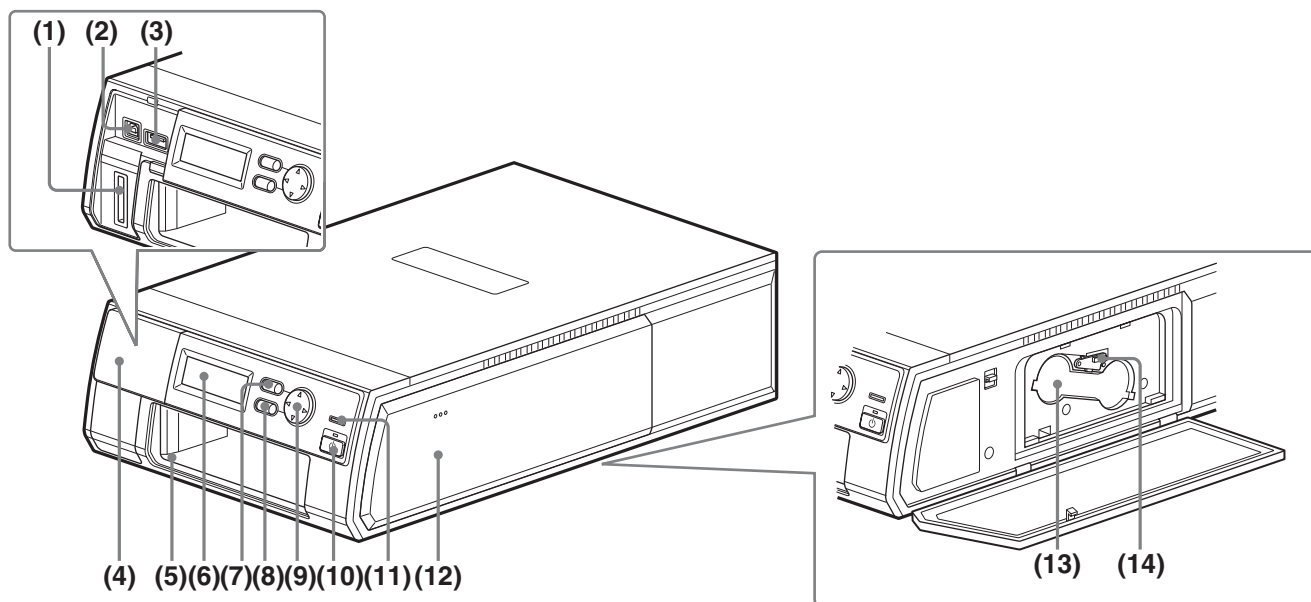
* ワイヤレス LAN SD カード同梱モデルのみ

ご注意

- 梱包材から本体を取り出す際は、腰を痛めないようにご注意ください。
- 梱包箱や緩衝材は、本機の移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをお勧めします。
- 輸送の際は、本機からプリントカートリッジとプリントペーパーを取りはずしてください。

各部の名称と働き

前面



(1) SD カードスロット

SD カードまたはワイヤレス LAN SD カードを挿入します。

(2) USB 端子 (デバイス)

USB ケーブルを介して、パソコンと接続します。¹⁾

1) USB ハブを使用して接続した場合は、動作を保証いたしません。

(3) USB 端子 (USB メモリー用)

USB メモリーを挿入します。¹⁾

1) すべての USB メモリーとの接続を保証するものではありません。

他の USB 機器を接続した場合は、動作を保証いたしません。

(4) スロットカバー

USB 端子または SD カードスロットを使用するときに、取りはずします。

(5) ペーパートレイスロット

ペーパートレイを装着します。

(6) 液晶ディスプレイ

電源を入れると、操作状況やメニュー項目が表示されます。

(7) [MENU] ボタン

メニュー画面を表示するときに押します。

(8) [EXEC (実行)] ボタン

メニュー操作時、選択したメニュー項目を実行するときに押します。

(9) コントロールボタン

メニュー操作時、メニュー項目の選択、設定に使用します。

(10) オン / スタンバイボタン / ランプ

押すとランプが点灯し、プリンターに電源が供給されます。もう一度押すとランプが消灯し、プリンターはスタンバイ状態になります。

(11) ステータスランプ

本機の状態を示します。

点灯 (赤)：プリンターの動作に問題があります。お買い上げ店にご相談ください。

点灯 (オレンジ)：次のいずれかの状態です。

- 紙が詰まっている、またはリボンが切れた。
 - プリントペーパーまたはプリントカートリッジを使い切った、または挿入されていない。
 - プリントペーパーとカートリッジのサイズが異なる。
- 液晶ディスプレイのエラーメッセージを確認して、対処を行ってください。詳しくは、「エラーメッセージ」(43 ページ)をご覧ください。

点灯（緑）：ワイヤレスネットワーク接続状態で、DPOF によるプリント予約が設定されている、またはプリント中です。

遅い点滅（緑）：ワイヤレスネットワーク接続状態で、DPOF によるプリント予約がすべて解除されている、またはクリーニング中です。

速い点滅（緑）：画像データ受信中、または記録メディアにアクセス中です。点滅中は、記録メディアを抜かないでください。

点滅（オレンジ）：ファームウェアのバージョンアップ中です。

(12) プリントカートリッジカバー

プリントカートリッジを装着または取り出すときに PUSH OPEN の所を押して開けます。

(13) プリントカートリッジスロット

プリントカートリッジを装着します。

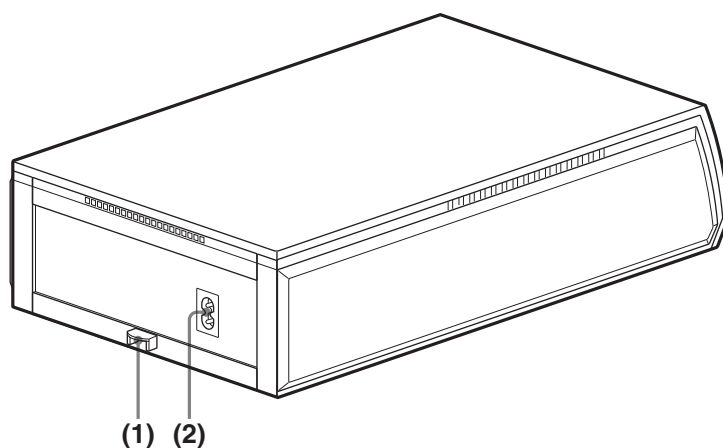
(14) カートリッジ取り出しレバー

プリントカートリッジを取り出すとき、上に押します。

ご注意

プリント中はこのレバーは機能しません。

背面



(1) 紙づまり除去カバー

紙づまりが起きたとき、このカバーをはずして、つまった紙を取り除きます。

ご注意

紙を取り除くとき以外は、必ず装着しておいてください。

(2) 電源入力端子

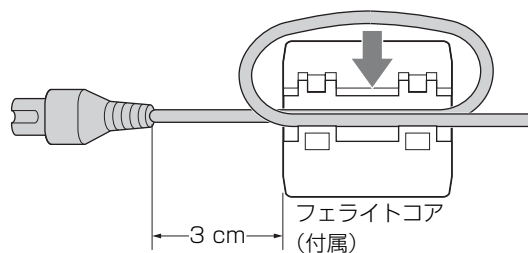
電源コード（付属）を使って AC 電源に接続します。

設置する

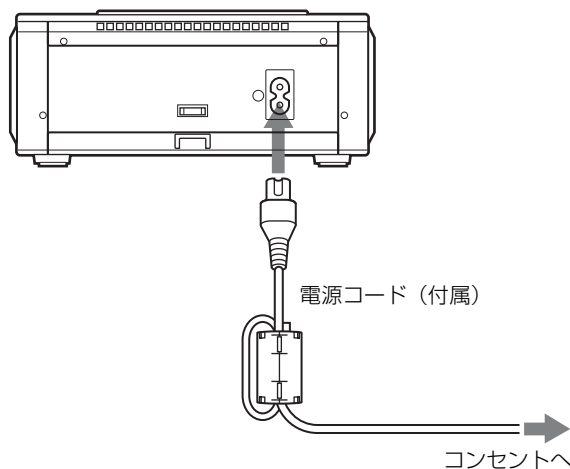
電源コードを接続する

- 1 電源コード（付属）の本体に接続する側にフェライトコアを取り付ける。

フェライトコアは、コネクタの根元から約 3 cm 離し、電源コードをフェライトコアの周りに 1 回巻き付けてください。



- 2 本体側の電源コネクタを本機の電源入力端子に接続し、もう一方をコンセントに差し込む。



ご注意

電源コードは、必ず指定のものをご使用ください。

プリントパックを取り付ける

プリントパックの取り扱いについて

ご注意

- プリントパックにはプリントカートリッジとプリントペーパーが入っています。プリントカートリッジとプリントペーパーは同じ箱に入っているものを必ずセットでお使いください。
- プリントペーパーのサイズに合ったプリントカートリッジをセットでお使いください。異なる組み合わせで使いになると、正常なプリント結果が得られないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。
- プリントペーパーのプリント面やプリントカートリッジのインクには触らないでください。プリント面やインクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。
- 印画可能枚数は、プリントパックにより異なります。また、インクリボン 1 個とプリントペーパー 1 パックのセットで印画可能な枚数は以下のとおりです。

プリントパック	UPC-X34 シリーズ	UPC-X46 シリーズ
印画枚数	30	25
印画サイズ	70 × 95 mm (± 2 mm)	102 × 152 mm (± 2 mm)

- プリントする前にプリントペーパーに字を書いたり、ワープロで印字したりしないでください。プリントできないことがあります。また、プリント後にプリント画へ文字を記入する場合は、油性ペンをお使いください。プリント画にはワープロなどでの印字はできません。
- プリントする前にプリントペーパーに切手やシールを貼らないでください。
- 一度使用したプリントペーパーでプリントしないでください。同じ画像を重ねてプリントしても、濃くならないばかりか、故障の原因になります。
- プリントする前にプリントペーパーを折ったり曲げたりしないでください。故障の原因になります。

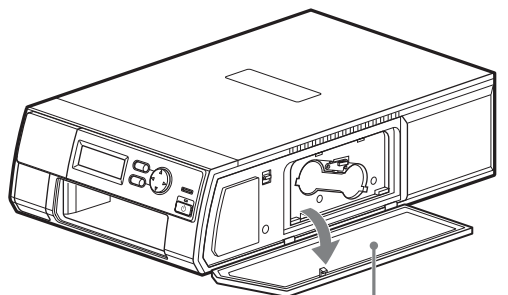
プリントパック保存上のご注意

- 次のような場所での保存は避けてください。
 - 温度の高いところ
 - 湿度やほこりの多いところ
 - 直射日光のあたるところ
- 開封後は、なるべく早くご使用ください
- 輸送時など、使用途中で保存しなければならない場合は、製品が入っていた袋に入れてください。

プリントパックを取り付ける

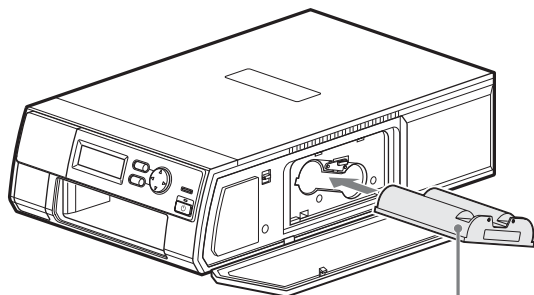
プリントカートリッジを取り付ける

- 1 プリントカートリッジカバー上部の PUSH OPEN の部分を押し、カバーを開ける。



プリントカートリッジカバー

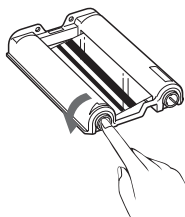
- 2 プリントカートリッジを入れ、カチッと音がしてロックされるまで差し込む。



プリントカートリッジ

ご注意

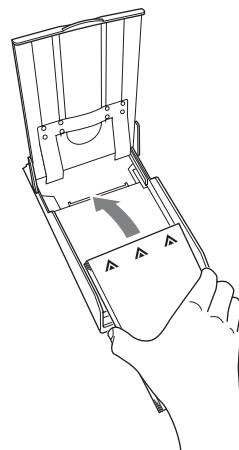
プリントカートリッジがうまく入らないときは、いったんプリントカートリッジを取り出してから、入れ直してください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、カートリッジのスプールを押しながら矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。



- 3 プリントカートリッジカバーを閉じる。

プリントペーパーを入れる

- 1 プリントペーパーをペーパートレイに入れる。



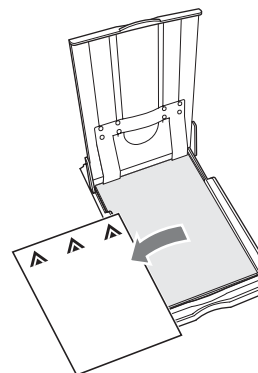
プリントペーパーは、保護シートを上にして、保護シートの矢印とトレイの矢印の向きを合わせて入れてください。UPC-X46 の場合は 25 枚、UPC-X34 の場合は 30 枚入れることができます。

ご注意

プリントペーパーは、バラバラになりやすいので、取り扱いにご注意ください。



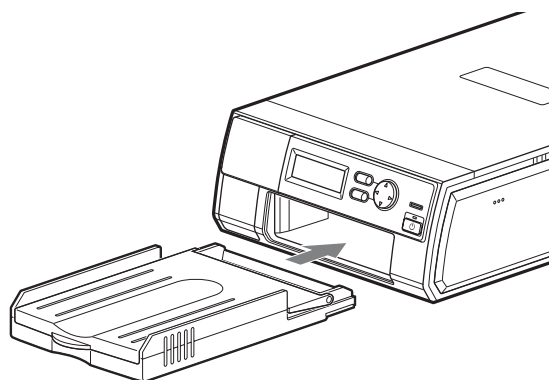
- 2 プリントペーパーの上の保護シートを取り除く。



ご注意

保護シートは保管しておいてください。プリンター内部のクリーニングに使用します。

3 ペーパートレイをしっかりと奥まで差し込む。



ご注意

印刷面に触れないようにしてください。ほこりや指紋がつくと印刷品質が劣化します。

4 プリントパックの取り付けが終わったら、[EXEC] ボタンを押す。

液晶ディスプレイのエラーメッセージが消え、操作ができるようになります。

ご注意

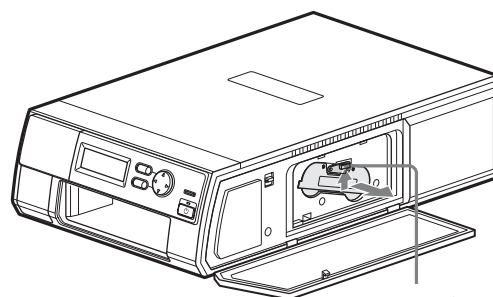
- UPC-X46 のペーパーは大きいペーパートレイに、UPC-X34 のペーパーは小さいペーパートレイに入れてください。ペーパーとトレイのサイズが合わないと、紙づまりの原因になることがあります。
- プリント中は、ペーパートレイの抜き差しはしないでください。
- プリントペーパーが給紙されないときは、ステータスランプがオレンジ色に点灯し、メッセージが表示されます。いったんプリンターからトレイを抜いてプリントペーパーがつまっていないか確認してください。
- プリントペーパーをトレイに追加する場合は、総量が UPC-X46 の場合は 25 枚、UPC-X34 の場合は 30 枚を超えないようにしてください。また、違う種類のプリントペーパーを重ねて入れないようにしてください。紙づまりの原因になります。
- プリント後、排紙された用紙をペーパートレイに 5 枚を超えてためないでください。紙づまりの原因となります。

プリントパックを交換する

プリント中にプリントカートリッジ・プリントペーパーが無くなった場合、ステータスランプがオレンジ色に点灯し、エラーメッセージが表示されます。以下の手順でプリントパックを交換してください。

プリントカートリッジを取りはずす

- 1 プリントカートリッジカバー上部の PUSH OPEN の部分を押し、カバーを開ける。
- 2 カートリッジ取り出しレバーを押し上げる。



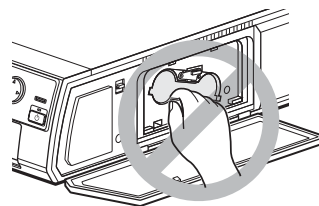
カートリッジ取り出しレバー

プリントカートリッジが出てくるので、抜き取ります。

- 3 新しいプリントカートリッジを入れ、プリントカートリッジカバーを閉じる。

ご注意

- 熱くなっていることがありますので、カートリッジカバーの内部に手を入れないでください。



- リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常なプリント結果が得られないばかりか、故障の原因になります。

プリントパックを取り付ける

プリントパックの取り付けについて詳しくは、「プリントパックを取り付ける」(16 ページ)をご覧ください。

インクリボンが切れてしまったときは

テープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。

- 1 プリントカートリッジを取り出す。
- 2 リボンを引き出し、リボン先端の幅一杯にテープを貼り、もう一方のスプールのリボンに貼り付ける。
- 3 インクリボンのゆるみをとる。

ご注意

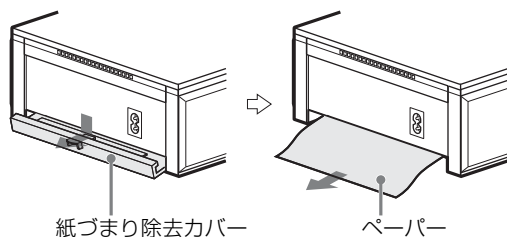
テープで貼り付けた部分は、完全に巻き取ってください。

- 4 プリントカートリッジを本機に挿入する。
リボンが切れた場所によっては、プリント画1枚分のリボンが失われる場合があります。

つまった紙を取り除くには

プリント動作中に紙づまりが起きたときは、ステータスランプがオレンジ色に点灯し、エラーメッセージが表示されてプリントが停止します。

- 1 プリンターのオン/スタンバイボタンを押してスタンバイ状態にする。
- 2 ペーパートレイをはずしてつまった紙を取り除く。
- 3 後面の紙づまり除去カバーをはずし、紙づまりがないかチェックし、ある場合はとり除く。



- 4 紙づまり除去カバーを必ず元に戻す。

ご注意

紙を除去したら、紙づまり除去カバーを必ず元に戻してください。通常の使用時は、カバーを装着しておいてください。

- 5 ペーパートレイを取り付ける。
- 6 プリンターの電源を入れる。

記録メディア（SD カード／USB メモリー）の取り付け

ご注意

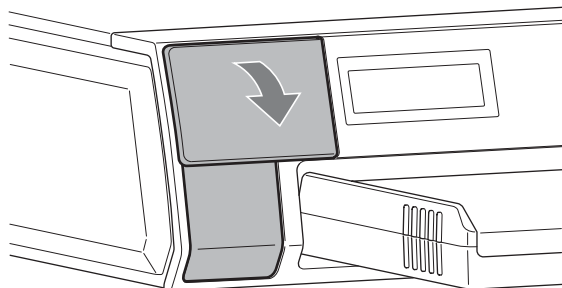
ご使用の USB メモリーの形状によっては、スロットカバーがはまらないことがあります。

記録メディアの取り付け／取りはずしは、スタンバイ状態または液晶ディスプレイに「READY」が表示されている状態で行ってください。

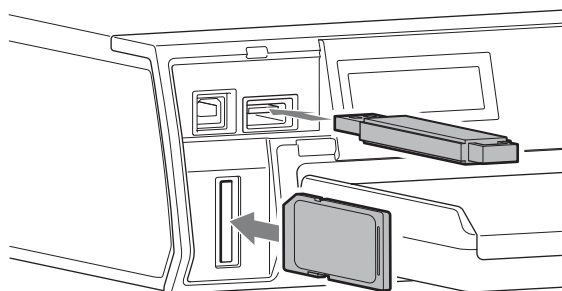
プリント中に記録メディアを取りはずしたり、電源コードを抜くと、記録メディアのデータが壊れることがあります。また、データの保護のため、必ずバックアップを作成してからお使いください。

記録メディアを取り付けるには

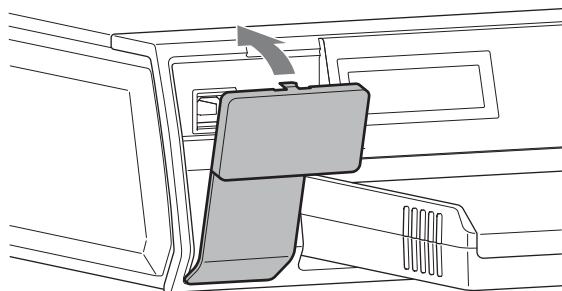
- 1 本機前面のスロットカバーをはずす。



- 2 記録メディアをスロットに挿入する。



- 3 スロットカバーを元通りにはめる。



起動と終了

起動

- 1 本機のオン／スタンバイボタンを1秒以上押して、電源をオンにする。

本機が起動し、液晶ディスプレイに「READY」と表示されます。

プリントカートリッジ・プリントペーパーが無い場合は、ステータスランプがオレンジ色に点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

終了

- 1 実行中の操作を終了させる。
- 2 オン／スタンバイボタンを押して、本機をスタンバイ状態にする。

ご注意

本機を終了させた後再び電源を入れる場合は、5秒以上経過してからオン／スタンバイボタンを押してください。

本機を導入するにあたって、使用する言語や証明写真プリントの設定などを行います。

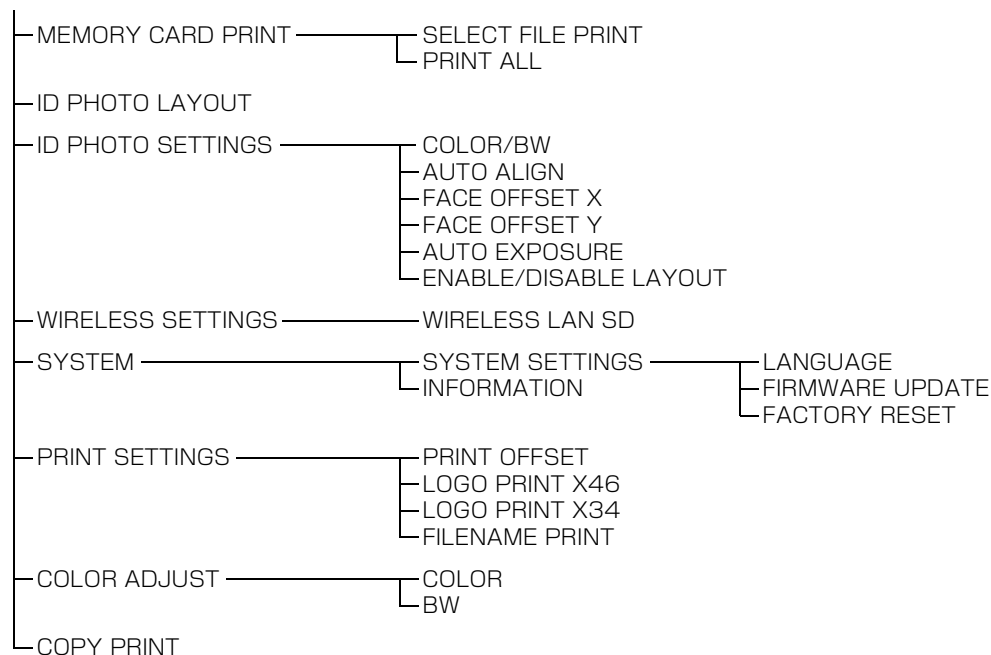
ご注意

本機の液晶ディスプレイにエラーが表示されている場合は、メニュー画面を表示できません。エラーを解決して、「READY」が表示されていることを確認してから [MENU] ボタンを押してください。

メニューを表示する

本機の設定はメニュー画面で行います。コントロールボタンの [MENU] ボタンを押すとメニューが表示されます。

主なメニュー



使用する言語を選択する

液晶ディスプレイのメニューやメッセージの表示言語を選択します。

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「SYSTEM」を表示させる。
- 3 ▶ を押す。
「SYSTEM SETTINGS」が表示されます。
- 4 ▶ を押す。
「LANGUAGE」が表示されます。
- 5 ▶ を押す。
現在選択中の言語が表示されます。
- 6 ▲ または ▼ を押して設定したい言語を選択し、[EXEC] ボタンを押す。
液晶ディスプレイが選択した言語で表示されます。

証明写真プリントの設定をする

レイアウトを選択する

本機に内蔵、または拡張 SD カード（26 ページ）に保存されている証明写真のレイアウトテンプレートの中からプリントしたいレイアウトを選択します。

選択できるレイアウトは、本機にセットされている用紙サイズに対応したもののみです。本機にセットされている用紙サイズ以外のレイアウトは、表示されません。

◆ 本機に内蔵されているレイアウトについては、「レイアウト一覧」（41 ページ）をご覧ください。

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「ID PHOTO LAYOUT」を表示させる。
- 3 ▶ を押す。
レイアウト名が表示されます。
- 4 ▲ または ▼ を押してプリントしたいレイアウトを選択し、[EXEC] ボタンを押す。
選択したレイアウト名が、「READY」表示の下に表示されます。アンテナのマークが表示されている場合は、▲ または ▼ ボタンを押すと表示されます。

レイアウトの表示／非表示を設定する

レイアウト名を「ID PHOTO LAYOUT」メニューに表示するかどうかを、レイアウトごとに選択します。

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「ID PHOTO SETTINGS」を表示させる。
- 3 ▶ を押す。
「COLOR/BW」が表示されます。
- 4 ▼ を押して、「ENABLE/DISABLE LAYOUT」を表示させる。

- 5 ▶を押す。
レイアウト名と「ENABLE」（表示する）または「DISABLE」（表示しない）が表示されます。
- 6 ▲または▼を押して、設定したいレイアウト名を選択する。
- 7 ◀または▶を押して、ENABLE/DISABLE を切り換える。
- 8 他のレイアウトについても設定する場合は、手順 6、7 を繰り返す。
- 9 設定が完了したら、[EXEC] ボタンを押す。

プリントのカラー／モノクロを選択する

画像をカラーでプリントするか、モノクロでプリントするかを選択します。

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▼を押して、液晶ディスプレイに「ID PHOTO SETTINGS」を表示させる。
- 3 ▶を押す。
「COLOR/BW」が表示されます。
- 4 ◀または▶を押して、COLOR（カラー）またはBW（モノクロ）を切り換える。
- 5 設定が完了したら、[EXEC] ボタンを押す。

トリミングの設定をする

顔が正しい位置でプリントされるよう、トリミングを行います。

顔認識機能を利用して、トリミングする位置や大きさを自動的に調整することができます。

自動調整オン：

画像データから顔の位置と大きさを自動的に検出し、選択されているレイアウトに合わせて、トリミングを行います。

ご注意

顔認識機能で顔が検出されなかった場合は、自動トリミングは行われません。プリントの結果、顔の位置や大きさが

意図したとおりにない場合は、自動調整をオフにしてプリントしてください。

自動調整オフ（マニュアル）：

画像のサイズを基に、選択されているレイアウトのサイズに合わせてトリミングを行います。

顔が中央にプリントされない場合は、手動でトリミング位置を調整することができます。

自動調整をオンにする

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▼を押して、液晶ディスプレイに「ID PHOTO SETTINGS」を表示させる。
- 3 ▶を押す。
「COLOR/BW」が表示されます。
- 4 ▼を押して、「AUTO ALIGN」を表示させる。
- 5 ◀または▶を押して、自動調整のON／OFFを切り換える。
- 6 設定が完了したら、[EXEC] ボタンを押す。

トリミング位置を手動で調整する

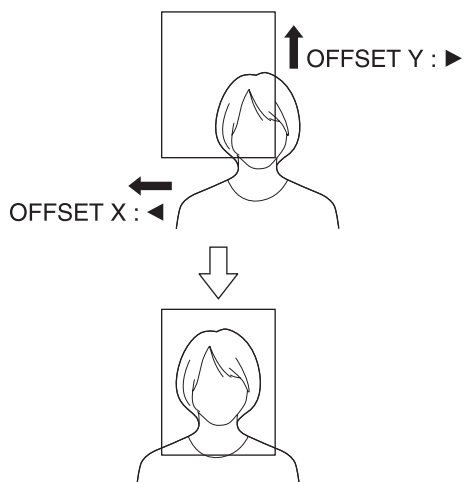
自動調整がオフの場合に、画像のトリミング位置を調整することができます。

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▼を押して、液晶ディスプレイに「ID PHOTO SETTINGS」を表示させる。
- 3 ▶を押す。
「COLOR/BW」が表示されます。
- 4 ▼を押して、「FACE OFFSET X」を表示させる。
- 5 ◀または▶を押して、横方向のトリミング位置を設定する。

ボタンの方向に顔が移動します。1 回ボタンを押すごとに、プリント位置が 0.5 mm ずつ移動します。
- 6 ▼を押して、「FACE OFFSET Y」を表示させる。

7 ◀または▶を押して、縦方向のトリミング位置を設定する。

◀を押すと顔が下に、▶を押すと上に移動します。1回ボタンを押すごとに、プリント位置が0.5 mm ずつ移動します。



8 設定が完了したら、[EXEC] ボタンを押す。

露出を自動補正する

顔認識機能を利用して画像データの顔の位置を検出し、自動的に明るさを補正します。

ご注意

顔認識機能で顔が検出されなかった場合は、自動補正は行われません。

1 [MENU] ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ▼を押して、液晶ディスプレイに「ID PHOTO SETTINGS」を表示させる。

3 ▶を押す。

「COLOR/BW」が表示されます。

4 ▼を押して、「AUTO EXPOSURE」を表示させる。

5 ◀または▶を押して、露出補正のON/OFFを切り換える。

6 設定が完了したら、[EXEC] ボタンを押す。

ファイル情報をプリントする

画像のファイル名や Exif 情報に記録されている撮影日時を、画像といっしょにプリントすることができます。

1 [MENU] ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ▼を押して、液晶ディスプレイに「PRINT SETTINGS」を表示させる。

3 ▶を押す。

「PRINT OFFSET」が表示されます。

4 ▼を押し、「FILENAME PRINT」を表示させる。

5 ◀または▶を押して、ファイル情報プリントのON/OFFを切り換える。

6 設定が完了したら、[EXEC] ボタンを押す。

ワイヤレス LAN SD カードを使ったプリントの設定をする

この機能は、ワイヤレス LAN SD カード同梱モデルのみ有効です。

対応するワイヤレス LAN SD カードについて

本機は、次のワイヤレス LAN（無線 LAN 通信機能搭載）SD カードに対応しています。

- 東芝製 FlashAir™

FlashAir は、株式会社東芝の商標です。

ご注意

- ワイヤレス LAN SD カードは、必ず付属のものをご使用ください。
- 付属のワイヤレス LAN SD カードは初期化しないでください。

付属のワイヤレス LAN SD カードについて

本機には、デジタルカメラ用とプリンター用の 2 枚のワイヤレス LAN SD カードが付属しています。付属のカードには、本機およびデジタルカメラで使用するための設定が済んでいますので、SD カードスロットに挿入してすぐに使用することができます。

デジタルカメラ用のカードには「C」、プリンター用のカードには「P」と印字されています。デジタルカメラ用カードをプリンターに挿入したり、プリンター用のカードをデジタルカメラに挿入した場合は、正常に接続できません。

ワイヤレス LAN SD カードの設定をする

付属のワイヤレス LAN SD カードを誤って初期化した場合や、新しいワイヤレス LAN SD カードを使用する場合は、下記の手順に従って設定を行ってください。

ご注意

付属のワイヤレス LAN SD カードは、出荷時に設定が行われています。誤って初期化した場合などを除き、下記の設定は行わないでください。

デジタルカメラ用のカードを作成する

- 1 ワイヤレス LAN SD カードを、本機の SD カードスロットに挿入する。
- 2 [MENU] ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「WIRELESS SETTINGS」を表示させる。
- 4 ▶ を押す。
「WIRELESS LAN SD」が表示されます。
- 5 ▶ を押す。
「SSID」が表示されます。
- 6 ▼ を押して、「SETUP CAMERA CARD」を表示させる。
- 7 ▶ を押す。
「SETUP CARD」が表示される。
- 8 [EXEC] ボタンを押す。
デジタルカメラ用カードの設定が行われます。
設定が完了した SD カードは、デジタルカメラに挿入してお使いください。

プリンター用の SD カードを作成する

- 1 ワイヤレス LAN SD カードを、本機の SD カードスロットに挿入する。
- 2 [MENU] ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「WIRELESS SETTINGS」を表示させる。
- 4 ▶ を押す。
「WIRELESS LAN SD」が表示されます。
- 5 ▶ を押す。
「SSID」が表示されます。

6 ▼を押して、「SETUP PRINTER CARD」を表示させる。

7 ▶を押す。

「SETUP CARD」が表示されます。

8 [EXEC] ボタンを押す。

プリンター用カードの設定が行われます。

拡張 SD カードを使用する

次の機能を使用する場合は、データや設定を保存する SD カード（**拡張 SD カード**）が必要です。

- レイアウトの追加
- ロゴ付きプリント

拡張 SD カードは、市販の SD カードを使って作成します。容量が 512 MB 以上の SD カードの使用を推奨します。ワイヤレス LAN SD カードを使ってプリントを行う場合は、ワイヤレス LAN SD カードにデータや設定を保存して、拡張 SD カードとして使用することができます。

で注意

SDXC カードには対応していません。

拡張 SD カードのフォルダ構成

拡張 SD カードには、証明写真のレイアウトやロゴ画像などのデータを保存します。

拡張 SD カードのフォルダ構成を次に示します。



拡張 SD カードを作成する

付属の CD-ROM に収録されているユーティリティソフトウェアで追加レイアウトやロゴを作成し、SD カードに保存すると、SD カードに自動的に上記のフォルダ構成が作成され、データが保存されます。

レイアウトやロゴを手作業でコピーする場合は、上記のフォルダ構成のとおりフォルダを作成してください。作成した拡張 SD カードは、本機前面の SD カードスロットに挿入してください。

レイアウトを追加する

本機に内蔵されているレイアウトのほかに、オリジナルのレイアウトを作成して使用することができます。

メモ

本機に内蔵されているレイアウトについては、「レイアウト一覧」（41 ページ）をご覧ください。

オリジナルレイアウトを作成する

レイアウトは付属の DS ID Photo Utility で作成することができます。詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている DS ID Photo Utility の設定ガイドおよび「Readme」をご覧ください。

レイアウトを保存する

作成したレイアウトは、拡張 SD カードの「¥DNP¥DSID400¥IDPhoto」フォルダに保存します。

追加したレイアウトを選択してプリントする

レイアウトの選択については、「レイアウトを選択する」（22 ページ）をご覧ください。

ロゴを追加する

オリジナルのロゴ画像を作成して拡張 SD カードに保存しておくと、ロゴを入れてプリントすることができます。

ロゴ画像を作成する

ロゴ画像は市販の画像処理ソフトなどで作成してください。作成した画像は、本機で扱える形式に変換する必要があります。

ロゴ画像の作成方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている DS ID Photo Utility の設定ガイドおよび「Readme」をご覧ください。

ロゴ画像を保存する

作成したロゴ画像は、拡張 SD カードの「¥DNP¥DSID400¥Template」フォルダに保存します。

ロゴ付きプリントをする

プリントの前に、拡張 SD カードに保存したロゴデータを選択します。

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「PRINT SETTINGS」を表示させる。
- 3 ▶ を押す。
「PRINT OFFSET」が表示されます。

- 4 ▼ を押して、「LOGO PRINT X34」（UPC-X34 シリーズの場合）または「LOGO PRINT X46」（UPC-X46 シリーズの場合）を表示させる。

- 5 ▶ を押す。

選択中のロゴの名称または「NONE」が表示されます。

- 6 ▲ または ▼ を押してプリントするロゴを選択し、[EXEC] ボタンを押す。

ロゴを選択した状態でプリントすると、ロゴ付きでプリントされます。

ロゴを解除するには

上記の手順 6 で、「NONE」を選択して、[EXEC] ボタンを押すと、ロゴの選択が解除されます。

ワイヤレス LAN SD カードを使ったプリントを中心に、その他のプリント方法についても説明します。

ご注意

ワイヤレス LAN SD カードを使ったプリントは、ワイヤレス LAN SD カード同梱モデルのみ有効です。

撮影の準備をする

ここでは、証明写真をワイヤレス LAN SD カードを使ってプリントする場合の撮影環境の準備について説明します。

使用するデジタルカメラについて

以下の機能を持つデジタルカメラを使用してください。

- SD カードが使用できる
- DPOF によるプリント予約ができる

推奨するデジタルカメラについて詳しくは、本機のお買い上げ店にご相談ください。

DPOF について

DPOF (Digital Print Order Format) は、デジタルカメラで撮影した画像を、自動的にプリントするための規格です。DPOF 対応のデジタルカメラでは、プリントしたい画像や枚数などの情報をメモリーカードに記録でき、その情報を DPOF に対応したフォトプリンターで読み取ることで、手軽にプリントできます。

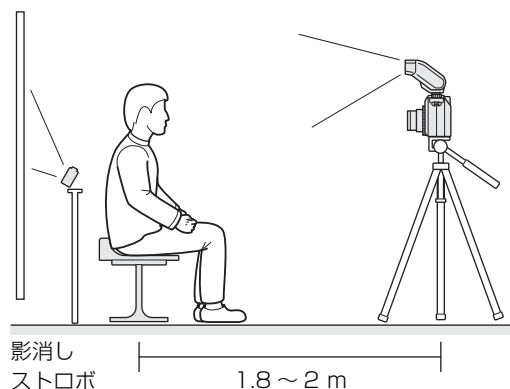
撮影環境について

証明写真を撮影環境として、デジタルカメラのほかに以下のものを準備することをお勧めします。

- 外部ストロボ
使用するデジタルカメラに取り付けて使用できるもの。
ガイドナンバー 25 程度を推奨。
- ディフューザー
拡散面は、100 × 70 mm 程度。
- 影消しストロボ
デジタルカメラのストロボと同調して発光できるもの。
- 三脚
デジタルカメラ用および影消しストロボ用。

デジタルカメラは、被写体から 1.8 ～ 2 m 程度離してください。

背景は無地で、影や被写体以外の物が映りこまないようにしてください。



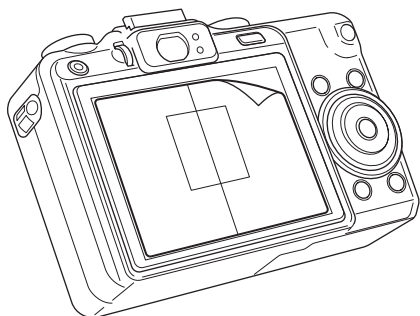
ご注意

上記の環境で撮影した場合でも、十分な画質の撮影を保証するものではありません。

デジタルカメラにガイドラインシールを貼る

本機には、撮影時の顔の位置の目安となるガイドラインシールが付属しています。ガイドラインシールは、使用するデジタルカメラのモニター画面に貼って使用します。同梱のガイドラインシールには、2.7 型用、2.8 型用、3.0 型用の 3 つのサイズがあります。お使いのデジタルカメラの

モニターサイズに合ったシールを、台紙に ▲ がある方を上にして貼り付けてください。



ワイヤレス LAN SD カードをセットする

付属のワイヤレス LAN SD カードを本機とデジタルカメラにそれぞれセットします。

付属のワイヤレス LAN SD カードには、デジタルカメラ用とプリンター用があります。デジタルカメラ用のカードには「C」、プリンター用のカードには「P」と印字されています。プリンター用のカードを本機の SD カードスロットに、デジタルカメラ用のカードをデジタルカメラの SD カードスロットに、それぞれ挿入してください。

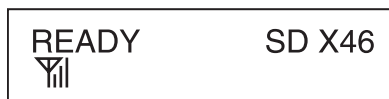
メモ

製品出荷時には、プリンター用のワイヤレス LAN SD カードは、本機の SD カードスロットに挿入されています。

ワイヤレス接続

ワイヤレス LAN SD カードをセットした後、本機とデジタルカメラの電源を入れると、自動的にワイヤレス接続が行われます。電源を入れてから接続が完了するまで、約 30 秒かかります。ただし、電波状況によっては、さらに時間がかかることがあります。

ワイヤレス接続が正常に行われている場合は、本機の液晶ディスプレイの「READY」表示の下に、次のアンテナマークが表示されます。「READY」表示の下にアンテナマーク以外の表示（レイアウト名）が表示されている場合は、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、表示を切り換えてください。



ワイヤレスネットワーク接続がされていない場合は、アンテナマークの横に「_」が表示されます。

ご注意

- ワイヤレス接続ができない場合には、本機とデジタルカメラの電源を入れ直してください。

- 本機とデジタルカメラが電波の届かない距離にいる場合は、接続可能な距離（約 5 m 以内）まで近づけてください。
- デジタルカメラ用のカードをプリンターに挿入したり、プリンター用のカードをデジタルカメラに挿入した場合は、ネットワークに正常に接続できません。カードの「P」（プリンター用）、「C」（デジタルカメラ用）の印字を確認してください。
- 本機の電源が入った状態で、ワイヤレス LAN SD カードを抜かないでください。
- ワイヤレス LAN SD カードに十分な空き容量がないと画像を受信できません。十分な空き容量があることを確認してください（512MB 以上を推奨）。

メモ

付属のワイヤレス LAN SD カードは、本機またはデジタルカメラで使用するよう設定済みです。ワイヤレス LAN SD カードの設定をやり直す場合は、「ワイヤレス LAN SD カードの設定をする」（25 ページ）をご覧ください。

証明写真を撮影してワイヤレスでプリントする

撮影する

撮影のための設定

お使いのデジタルカメラおよび撮影環境に合わせて、撮影の設定を行ってください。

市販のハイエンドコンパクトデジタルカメラを用いてマニュアル撮影をする場合の推奨の設定を次に示します。

設定項目	推奨設定
撮影モード	シャッター優先
ISO 感度	80 ～ 100 程度の低感度
シャッタースピード	1/250 程度
測光方式	スポット測光
ホワイトバランス	ストロボまたはマニュアル（ディフューザーを取り付けた状態で設定する）
アスペクト比	4：3
解像度（記録画素数） ¹⁾	フルサイズプリントの場合：5M 以上 証明写真の場合：2M 以上
電源	AC アダプターの使用を推奨
オートパワーセーブ	無効にする

1) 解像度が高いと、画像の転送に時間がかかります。プリントする証明写真のサイズが小さい場合は、解像度を下げることをお勧めします。

デジタルカメラに設定値を保存する機能がある場合は、設定値を保存しておくことをお勧めします。

ご注意

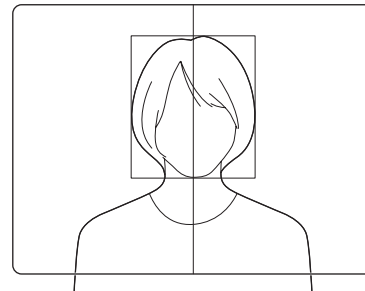
- 設定可能な項目および名称は、お使いのデジタルカメラによって異なります。設定の際は、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 上記の設定は、十分な画質の撮影を保証するものではありません。

撮影する

デジタルカメラを被写体に向け、モニター画面に貼り付けたガイドラインシールを使って構図を決めます。

構図を決めるときは、次の点に気を付けてください。

- 顔が枠内に収まるようにする。
- 頭頂部とあごが枠線に接するようにする。
- 顔の大きさが枠に合わない場合は、枠からはみ出さない範囲で、顔ができるだけ大きく捉える。



構図が決まったら、撮影します。

ご注意

次の場合は、トリミングの自動調整が正しく行われなかったことがあります。

- ガイドラインステッカーと大きく異なる構図の場合
- 背景が無地でない、または影や被写体以外の物が映りこんでいる場合

ワイヤレスでプリントする

撮影した画像を、デジタルカメラの DPOF 機能を使ってプリント予約すると、その画像が自動的に本機に転送され、プリントされます。

ご注意

操作方法は、お使いのデジタルカメラによって異なります。操作の際は、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

- 1 本機で、プリントサイズ、レイアウトなどが設定済みであることを確認する。
- 2 本機の液晶ディスプレイにアンテナマークが表示され、ワイヤレス接続されていることを確認する。

接続の確認について詳しくは、「ワイヤレス接続」（29 ページ）をご覧ください。
- 3 デジタルカメラの DPOF 機能を使って、プリント予約をする。

画像が自動的に本機に転送され、プリントが開始されます。

ご注意

- 画像の転送中は、SD カードを抜かないでください。記録メディアの画像データが壊れることがあります。
- プリントが終了するまでデジタルカメラの電源を切らないでください。

- DPOF 機能でプリント枚数を2枚以上指定しても、プリントされるのは1枚のみです。複数枚プリントしたい場合は、本機のコピープリント機能を使用してください。詳しくは、「最後にプリントした画像を再プリントする（コピープリント）」（33 ページ）をご覧ください。
- 一度プリントした画像を再度転送してプリントする場合は、プリント予約をすべて解除してからプリント予約をし直してください。

プリント予約をしてもプリントが行われな いときは

デジタルカメラで DPOF 機能によるプリント予約をすべて解除して、再度プリント予約をしてください。

一度プリントした画像を再度転送する場合も、同様にプリント予約をすべて解除してください。

- 1 本機の液晶ディスプレイにアンテナマークが表示され、ワイヤレス接続されていることを確認する。

接続の確認について詳しくは、「ワイヤレス接続」（29 ページ）をご覧ください。

- 2 デジタルカメラで、すべての画像のプリント予約を解除する。

プリント予約がすべて解除されたことを本機が受信すると、本機のステータスランプが緑色にゆっくり点滅します。

- 3 プリントしたい画像を再度プリント予約する。

画像が自動的に本機に転送され、プリントが開始されます。

とができなくなります。USB メモリー内の画像のバックアップを取り、空き容量を増やしてください。

プリントした画像を USB メモリーに 保存する

本機の USB 端子（ホスト）に USB メモリーを挿入すると、デジタルカメラから転送されプリントした画像が USB メモリーに保存されます。画像は、デジタルカメラの SD カードと同じフォルダー、同じファイル名で USB メモリーに保存されます。

ご注意

- プリント中に USB メモリーを抜かないでください。記録されている画像データが壊れることがあります。
- USB メモリー内に同じファイル名が存在する場合は自動的に上書きされます。
- USB メモリーの容量が不足している場合は、本機の液晶ディスプレイにエラーが表示され、プリントを続けるこ

記録メディアに保存した画像をプリントする

SD カードまたは USB メモリーに保存されている画像をプリントすることができます。この機能を使用すると、ワイヤレスプリントで自動的に USB メモリーに保存した画像を再度プリントすることができます。

ご注意

この機能でプリントできるのは、フォルダ構成、ファイル名、フォーマットなどが DCF に準拠している画像のみです。パソコンなどで作成したファイルや独自に作成したフォルダ内の画像など、DCF に準拠していない画像は、プリントできません。

- 1 プリントサイズ、レイアウトをあらかじめ設定する。
詳しくは、「証明写真プリントの設定をする」(22 ページ)をご覧ください。
- 2 [MENU] ボタンを押す。
- 3 コントロールボタンの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「MEMORY CARD PRINT」を表示させる。
- 4 ▶ を押す。
「SELECT FILE PRINT」が表示されます。
- 5 ▶ を押す。
「SELECT CARD」が表示されます。
- 6 ▲ または ▼ を押して、プリントしたい記録メディアを選択する。SD カードの場合は「SD」、USB メモリーの場合は「USB1」を選択する。
- 7 ▶ を押す。
「SELECT FOLDER」が表示されます。
- 8 ▲ または ▼ を押して、プリントしたい画像があるフォルダを選択する。

フォルダは、DCF に準拠した画像ファイルが保存されているフォルダが、新しい順（フォルダ名の前の数字が大きい順）に表示されます。
- 9 ▶ を押す。
「PRINT FILE」が表示されます。

- 10 ▲ または ▼ を押して、プリントしたい画像ファイルを選択する。

DCF に準拠したファイルが、新しい順（ファイル名に付く数字が大きい順）に表示されます。

- 11 [EXEC] ボタンを押す。

プリントが開始されます。

記録メディア内の画像をすべてプリントするには

上記の手順 4 の後に次の操作を行います。

- 5 コントロールボタンの ▼ を押して、「PRINT ALL」を表示させる。
- 6 ▶ を押す。
「SD」または「USB1」が表示されます。
- 7 ▲ または ▼ を押して、プリントしたい記録メディアを選択し、[EXEC] ボタンを押す。

すべての画像が1枚ずつプリントされます。

ご注意

- この機能では、各画像ファイルが1枚のみプリントされます。複数枚プリントしたい場合は、本機のコピープリント機能を使用してください。
詳しくは、「最後にプリントした画像を再プリントする（コピープリント）」(33 ページ)をご覧ください。
- プリント中は記録メディアを抜かないでください。
- 一度にプリントできる画像ファイル数は最大1000枚です。

最後にプリントした画像を再プリントする（コピープリント）

最後にプリントした画像のデータは、プリンターの内蔵メモリーに保存されています。この画像をプリントすることができます。

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「COPY PRINT」を表示させる。
- 3 ▶ を押す。
- 4 ▲ または ▼ を押して、プリント枚数を設定する。
- 5 [EXEC] ボタンを押す。
プリントが開始されます。

ご注意

- プリンターをスタンバイ状態にすると、内蔵メモリーの画像が消去されるため、コピープリントができなくなります。
- ワイヤレスで画像を転送している途中で中断した場合や、記録メディアに保存した画像のプリント中に記録メディアが抜かれて中断した場合は、内蔵メモリーに画像が正常に保存されません。このような場合はコピープリントできません。
- 用紙サイズを変更すると、内蔵メモリーのデータとサイズが異なるため、コピープリントができなくなります。
- コピープリントでは、画質調整やトリミングの設定はできません。

パソコンからプリントする

市販の USB ケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、パソコンから送ったデータを本機でプリントできます。

ご注意

パソコンからプリントする場合は、証明写真レイアウトを指定したプリントはできません。

パソコンにプリンタードライバーをインストールする

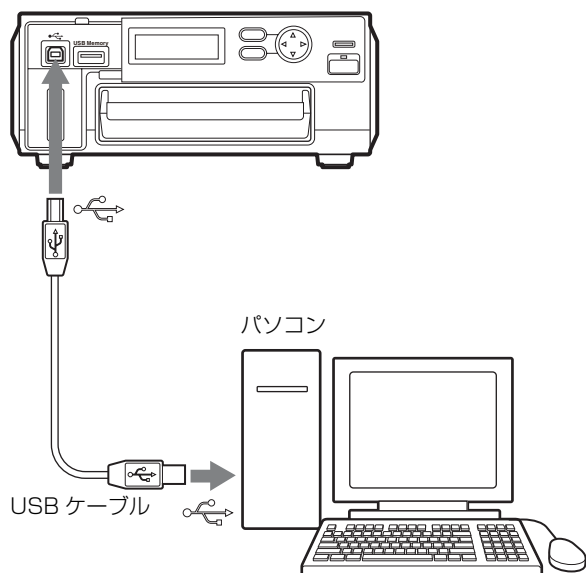
パソコンから本機を操作する場合は、パソコンと本機を接続する前に、付属のプリンタードライバーをパソコンにインストールする必要があります。
インストールのしかたについては、付属の CD-ROM に収録されているインストールガイド、および「Readme」をお読みください。

ご注意

付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応していません。

パソコンと接続する

パソコンからプリントする場合は、USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。USB ケーブルは、本機前面の USB 端子（デバイス）に接続します。
接続については、パソコンの取扱説明書も併せてご覧ください。



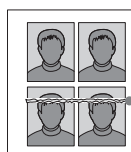
ご注意

- 本機とパソコンを接続する前に、本機の電源が切れていることを確認してください。電源が入っている場合は正しく認識されない場合があります。
- USB ハブを使用して接続した場合は、動作を保証いたしません。

クリーニング

プリンター内部のクリーニング

プリント上に白いスジや点状のキズが入るようになった場合は、本機に付属の白いクリーニングカートリッジと、プリントパックに付属の保護シートを使ってクリーニングしてください。



白いスジ

メモ

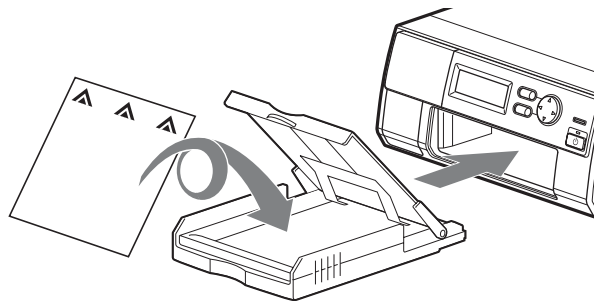
クリーニングカートリッジには、「Cleaning Cartridge」と表記されています。

ご注意

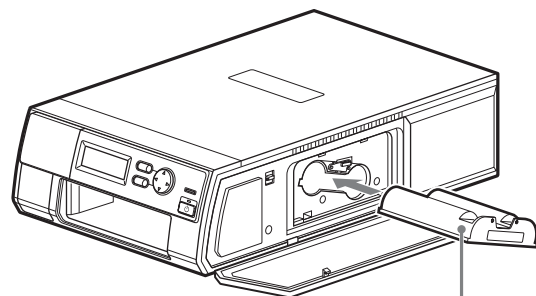
- 印刷結果に白いスジや点状のキズが現れたときのみクリーニングを行ってください。
- 正常なプリント結果が得られる状態で、クリーニングを行っても、プリントの質が向上することはありません。

- 1 プリンターからペーパートレイを抜き、トレイ内の用紙を取り除く。

- 2 保護シートを、印刷のない面を上にして、トレイ底面とシート裏の矢印が同じ向きになるようにトレイに入れる。



- 3 プリントカートリッジカバーを開け、プリントカートリッジを抜く。
- 4 付属のクリーニングカートリッジを装着し、カバーを閉める。



クリーニングカートリッジ

「HEAD CLEANING」が表示されます。

- 5 [EXEC] ボタンを押す。

クリーニングカートリッジと保護シートがプリンターの内部をクリーニングします。クリーニングが終わると、保護シートが自動的に排紙されます。

- 6 プリンターからクリーニングカートリッジを抜き、プリントカートリッジとペーパートレイを元に戻す。

プリントの調整をする

本機では、プリント画質とプリント位置を調整できます。プリント結果を見て、必要に応じて調整してください。

プリンターの画質を調整する

カラープリントの画質を調整する

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「COLOR ADJUST」を表示させる。
- 3 ► を押す。
「COLOR ADJUST COLOR」が表示されます。
- 4 ► を押す。
「CYN-RED」が表示されます。
- 5 ▲ または ▼ を押して、調整したい項目を選択する。
以下の設定項目があります。
CYN-RED：シアンと赤の成分を調整します。◀ を押すとシアンが強くなり、► を押すと赤が強くなります。
MAG-GRN：マゼンダと緑の成分を調整します。◀ を押すとマゼンダが強くなり、► を押すと緑が強くなります。
YEL-BLU：黄色と青の成分を調整します。◀ を押すと黄色が強くなり、► を押すと青が強くなります。
DARK：暗い部分の階調を調整します。► を押すと暗い部分がより暗くなります。
LIGHT：明るい部分の階調を調整します。► を押すと明るい部分がより明るくなります。
SHARPNESS：画像の輪郭を調整します。► を押すと輪郭がはっきりします。
GAMMA：中間色の階調を調整します。◀ を押すと全体的に色調が薄くなり、► を押すと濃くなります。調整の際は、「画質調整の各パラメーターについて」も併せてご覧ください。
- 6 ◀ または ► を押して、各項目の調整を行う。
- 7 他の項目を調整する場合は、手順 5、6 を繰り返す。
- 8 調整がすべて完了したら [EXEC] ボタンを押す。

モノクロプリントの画質を調整する

「カラープリントの画質を調整する」の手順 3 の後に、コントロールボタンの ▼ を押すと、「COLOR ADJUST B/W」が表示され、モノクロプリントの画質調整モードになります。調整方法はカラープリントの画質調整と同じです。

設定値を保存する

調整が終了したら、次の手順で調整値を保存します。

- 1 「COLOR ADJUST COLOR」または「COLOR ADJUST B/W」画面で、コントロールボタンの ► を押す。
- 2 ▼ を押して、「SAVE SETTINGS」を表示させる。
- 3 ◀ または ► を押して、設定値を保存するメモリーの番号（1～3）を選択する。
- 4 [EXEC] ボタンを押す。

設定値が手順 3 で選択した番号のメモリーに保存されます。

設定値を呼び出すには

保存した調整値は次の手順で呼び出すことができます。

- 1 「COLOR ADJUST COLOR」または「COLOR ADJUST B/W」画面で、コントロールボタンの ► を押す。
- 2 ▼ を押して、「LOAD SETTINGS」を表示させる。
- 3 ◀ または ► を押して、設定値が保存されているメモリーの番号（1～3）を選択する。
- 4 [EXEC] ボタンを押す。

手順 3 で選択した番号のメモリーに保存されていた設定値が呼び出されます。

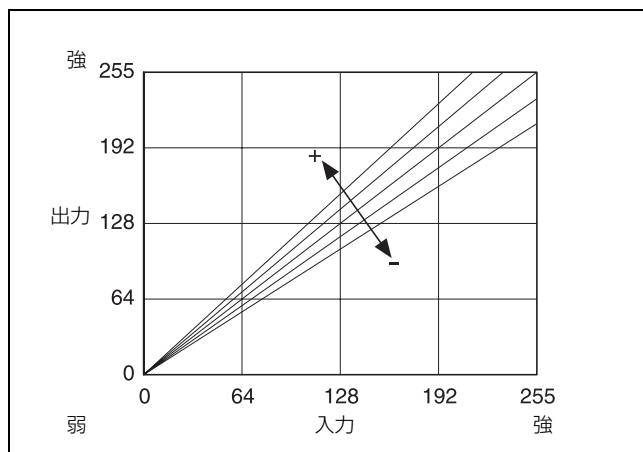
画質調整の各パラメーターについて

カラーバランスの調整

赤／緑／青とそれぞれの補色とのバランスを調整します。

CYN-RED、MAG-GRN、YEL-BLU

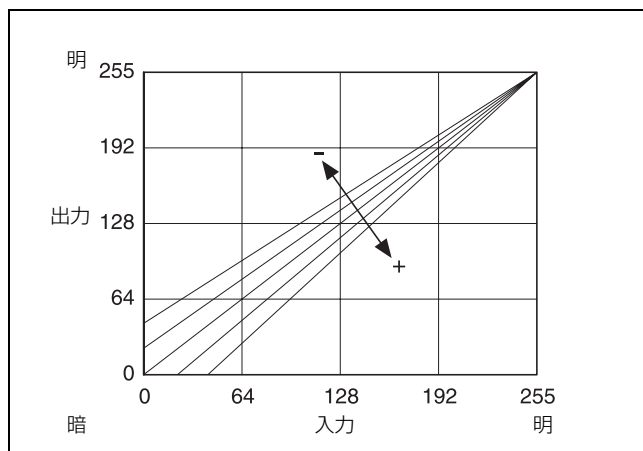
赤、緑、青の各色は、► を押すと強くなり、◀ を押すと弱くなります。例えば、CYN-RED で ◀ を押すと赤が弱くなり、補色であるシアンが強くなります。



明るさの調整

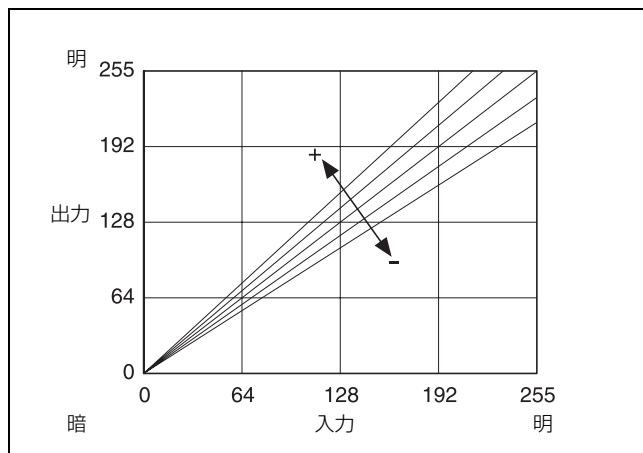
DARK

暗い部分の階調を調整します。暗い部分の階調は、▶を押すとより暗くなり、◀を押すとより明るくなります。



LIGHT

明るい部分の階調を調整します。明るい部分の階調は、▶を押すとより明るくなり、◀を押すとより暗くなります。



メモ

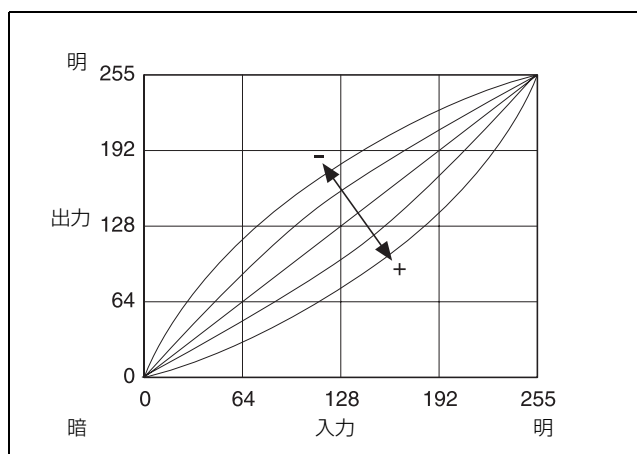
コントラストを調整するためには、DARK と LIGHT を同時に調整します。両方を ▶ で+に動かすとコントラストが強くなり（硬調）、◀ で-に動かすとコントラストが弱くなります（軟調）。

SHARPNESS

画像の輪郭を調整します。画像の輪郭は、▶を押すと強調され、◀を押すと柔らかくなります。

GAMMA

中間色の階調を調整します。中間色部分の階調は、▶を押すとより暗くなり、◀を押すとより明るくなります。



プリント位置を調整する

UPC-X46 使用時に、プリントペーパーのミシン目に対して正しい位置にプリントされるよう、0.5 mm 単位で調整することができます。

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、液晶ディスプレイに「PRINT SETTINGS」を表示させる。
- 3 ▶ を押す。
「PRINNT OFFSET」が表示されます。
- 4 ◀ または ▶ を押して、オフセット値を設定する。
- 5 [EXEC] ボタンを押す。

プリントを実行して正しい位置にプリントされるか確認し、さらに調整が必要な場合は、上の操作を繰り返します。

工場出荷時の設定に戻す

本機の設定が工場出荷時の設定に戻ります。

- 1 [MENU] ボタンを押す。
- 2 コントロールボタンの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「SYSTEM」を表示させる。
- 3 ▶ を押す。
「SYSTEM SETTINGS」が表示されます。
- 4 ▶ を押す。
- 5 ▼ を押して、「FACTORY RESET」を表示させる。
- 6 ▶ を押す。
- 7 [EXEC] ボタンを押す。

すべての設定が、工場出荷時の状態に戻ります。

ご注意

ロゴプリントについては、工場出荷時の状態に戻しても、前回選択したロゴがプリントされます。ロゴをプリントしないようにするには、メニューでロゴを解除してください(27 ページ)。

ファームウェアをアップデートする

本機のファームウェアをアップデートします。

最新のファームウェアについては、DS-ID400 のサポートページ (<http://dnpphoto.net/support-j/>) でご確認ください。

- 1 ファームウェアをSDカードまたはUSBメモリーに保存する。
- 2 [MENU] ボタンを押す。
- 3 コントロールパネルの ▼ を押して、液晶ディスプレイに「SYSTEM」を表示させる。
- 4 ▶ を押す。
「SYSTEM SETTINGS」が表示されます。
- 5 ▶ を押す。
- 6 ▼ を押して、「FIRMWARE UPDATE」を表示させる。
- 7 ▶ を押す。
「INSERT MEMORY CARD」が表示されます。
- 8 ファームウェアを保存したSDカードまたはUSBメモリーを挿入する。
- 9 アップデートするファームウェアのバージョンを確認し、[EXEC] ボタンを押す。

アップデートが開始されます。液晶ディスプレイには、「NOW UPDATING」と表示されます。
アップデートが完了すると、本機が再起動されます。

ご注意

アップデート中は、本機の電源を切らないでください。

付録

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。傾けたり、横にしたまま使用しないでください。故障の原因になります。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - －不安定なところ
 - －ほこりの多いところ
 - －極端に寒いところや暑いところ
 - －振動の多いところ
 - －湿気の多いところ
 - －直射日光の当たるところ
- 本体の通気孔をふさがないようにご注意ください。故障の原因となります。

長い間で使用にならないときは

- 電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- プリントバックを使用途中で保存する場合は、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴が付かないように、部屋の温度になじませてから開封し、使用してください。

輸送するときは

本機を輸送する際は、付属品や記録メディア、プリントカートリッジ、プリントペーパーを取りはずしてください。付属品をつけたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。

取りはずしたプリントカートリッジとプリントペーパーは製品が入っていた袋に入れて保存してください。

結露について

- 湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴が付くことがあります。これを結露といいます。この状

態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

- 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントバックを持ち込むと、プリントカートリッジやプリントペーパーに水滴が付くことがあります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントバックを使用すると、プリント画像にシミなどが現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。

操作上のご注意

- SD カードスロットや USB 端子に、異物を入れないでください。

記録メディアについて

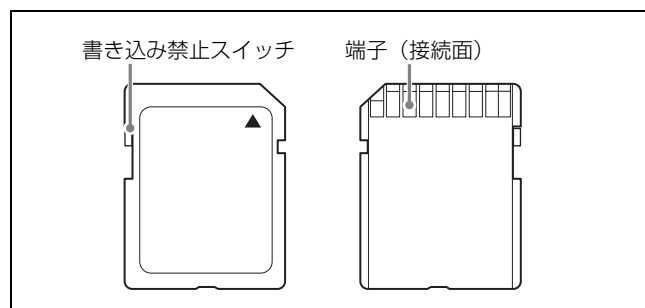
本機は、SD カードと USB メモリーに対応しています。各記録メディアに記録されている画像データは、バックアップを作成してから使用することをお勧めします。

ご注意

本機の使用中に、万一記録メディアやデータが壊れても、責任を負いかねますのでご了承ください。

SD カードについて

SD カードの各部の名称は、次のとおりです。



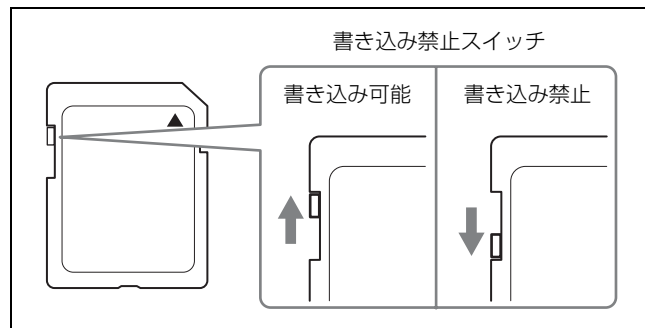
詳しくは、下記の SD アソシエーションホームページまたはお買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
<http://www.sdcard-jp.com/>

ご注意

本機は、SDXC には対応していません。

本機で SD カードやワイヤレス LAN SD カードを使用する際は、SD カードへ書き込める状態にしておく必要があります。

カードの書き込み禁止スイッチを図の書き込み可能の位置にセットしてください。書き込み禁止状態のカードを本機で使用すると、エラーメッセージが表示されます。



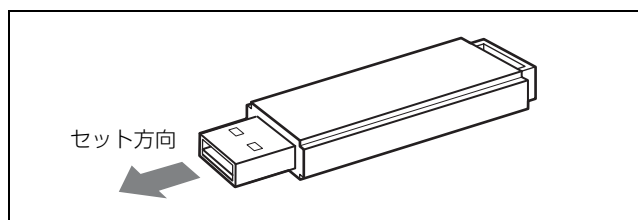
詳しくは、お買い上げのカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

SD カードの使用上のご注意

- カードをお使いになる前に、お買い上げのカードに付属の取扱説明書をよくお読みください。
- 付属のワイヤレス LAN SD カードは初期化しないでください。
- 指定以外のカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- カードは湿気に弱いため、湿度の高い場所ではお使いにならないようお勧めいたします。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所
- カードの端子部に手や金属で触れないでください。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- カードを本機にセットする前に、対応するスロットおよびカードのセット方向を必ず確認してください。カードを無理にセットすると、本機の故障の原因となります。
- データの読み込み中、書き込み中にカードを取りはずしたり、電源を切らないでください。記録されているデータが消えたり壊れたりすることがあります。

USB メモリーについて

USB メモリーをスロットにセットするときは、コネクタの上下を確認して差し込んでください。



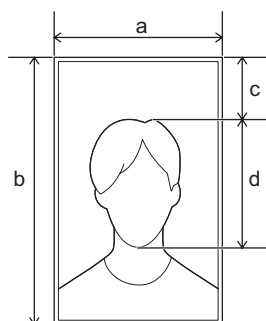
詳しくは、お買い上げの USB メモリーに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- セキュリティ機能を持つ USB メモリーは使用できません。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。

レイアウト一覧

本機には、下記の表に示す証明写真のレイアウトが内蔵されています。



- a : 写真サイズ (横)
- b : 写真サイズ (縦)
- c : オフセット (フレームの上辺から頭まで)
- d : 顔サイズ

レイアウト名	説明	写真サイズ (横×縦、mm)	オフセット (mm)	顔 サイズ (mm)	1枚あたりのプリント数	
					UPC-X46	UPC-X34
Full Bleed Print (X46)	最大サイズ印刷 (X46)	102 × 152	—	—	1	—
Full Bleed Print (X34)	最大サイズ印刷 (X34)	70 × 95	—	—	—	1
USA Passport	パスポート (アメリカ)	51 × 51	5	29	2	1
CAN Passport	パスポート (カナダ)	50 × 70	10	32	2	1
MEX Passport	パスポート (メキシコ)	35 × 45	6	33	8	4
COL Passport	パスポート (コロンビア)	35 × 45	6	33	8	4
VEN Passport	パスポート (ベネズエラ)	51 × 51	5	29	2	1
EU Passport	パスポート (EU)	35 × 45	6	33	8	4
GBR Passport	パスポート (イギリス)	35 × 45	8	30	8	4
DEU Passport	パスポート (ドイツ)	35 × 45	7	33	8	4
FRA Passport	パスポート (フランス)	35 × 45	6	33	8	4
ITA Passport	パスポート (イタリア)	40 × 40	5	31	6	2
NLD Passport	パスポート (オランダ)	35 × 45	9	27	8	4
ESP Passport	パスポート (スペイン)	30 × 40	7	27	8	4
AUT Passport	パスポート (オーストリア)	35 × 45	6	33	8	4
RUS Passport	パスポート (ロシア)	35 × 45	6	33	8	4
TUR Passport	パスポート (トルコ)	35 × 45	6	33	8	4
AUS Passport	パスポート (オーストラリア)	35 × 45	6	33	8	4
NZL Passport	パスポート (ニュージーランド)	35 × 49	6	33	8	2
JPN Passport	パスポート (日本)	35 × 45	5	33	8	4
JPN Driver license	免許証 (日本)	24 × 30	5	17	12	6
JPN Personal history	履歴書 (日本)	30 × 40	6	23	8	4

故障かなと思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはサービス窓口にお問い合わせください。

プリンター

症状	原因／処置
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていない。 →電源コードを AC 電源に正しく接続してください。(15 ページ)
プリントできない。	正しい組み合わせのプリントペーパーとプリントカートリッジが入っていない。 →専用のプリントペーパーとプリントカートリッジを、正しい組み合わせでご使用ください。 プリンター内部の温度が上がりすぎて、液晶ディスプレイに「PLEASE WAIT」と表示されている。 →プリンター内部の温度が上がりすぎた場合、一時的にプリントできないことがあります。プリントが自動的に再開するまでお待ちください。 プリントペーパーがつまっている。 →つまっている紙を取り除いて、もう 1 度プリントしてみてください。(18 ページ)
紙づまりが起きた。	→つまっている紙を取り除いて、もう 1 度プリントしてみてください。(18 ページ)
インクリボンが切れた。	→テープなどでつないで、もう 1 度プリントカートリッジを挿入してください。(18 ページ)
プリントカートリッジが取り出せない。	プリント中である。 →プリント中はプリントカートリッジは取り出せません。プリントが終了するまでお待ちください。それでも取り出せないときは、お買い上げ店またはサービス窓口にご連絡ください。
プリントに白いスジやキズが入る。	サーマルヘッドにゴミが付着している場合があります。 →付属のクリーニングカートリッジでクリーニングをしてみてください。 プリンター内部のローラーでプリントペーパーに傷が付く場合があります。 →ペーパートレイに入れる枚数を減らしてご使用ください。
「ビビビ」と鳴って動作しない。	→受け付けられない操作をした場合、「ビビビ」と音がします。

症状	原因／処置
ステータスランプが点灯または点滅して、エラーメッセージが表示される。	→画面の指示に従って対処してください。

ワイヤレス LAN SD カード

症状	原因／処置
接続できない。	ワイヤレス LAN SD カードが挿入されていない。 →本機とデジタルカメラの両方にワイヤレス LAN SD カードを挿入してください。 プリンター用カードとデジタルカメラ用カードを入れ間違えている。 →本機にプリンター用カード、デジタルカメラにデジタルカメラ用カードを挿入してください。 ワイヤレス LAN SD カードの設定がされていない。 →プリンター用カードおよびデジタルカメラ用カードに、それぞれ設定を行ってから、再び接続してください。(25 ページ) →カードを初期化してしまった場合は、本機で設定し直してください。(25 ページ) 電波の届かない範囲にいる。 →機器同士を電波の届く接続可能な距離（約 5 m 以内）まで近づけてください。 本機およびデジタルカメラの電源が入っていない。 →本機およびデジタルカメラの電源を入れてください。(電源を入れてから接続まで約 30 秒かかります。)

症状	原因／処置
画像を転送できない。	電波の届かない範囲にいる。 → 機器同士を電波の届く接続可能な距離まで近づけてください。 本機またはデジタルカメラのワイヤレス LAN SD カードが手などで覆われている。 → ワイヤレス LAN SD カードが挿入されているスロット部を手などで覆わないでください。 接続相手が送信を中断した。 → 電源などデジタルカメラの状態を確認し、再び接続してください。デジタルカメラのパワーセーブモードを OFF にして使用することをお勧めします。(30 ページ) ワイヤレス LAN SD カードに十分な空き容量がない。 → ワイヤレス LAN SD カードのバックアップを取り、空き容量を増やしてから使用してください。
プリントできない。	プリント済みの画像のプリント予約 (DPOF) が残っている。 → デジタルカメラですべてのプリント予約 (DPOF) を解除してから、再度プリント予約 (DPOF) をしてください。(33 ページ) 本機のメニュー操作をしている。 → メニューを閉じて液晶ディスプレイに「READY」が表示されていることを確認してください。

エラーメッセージ

表示	原因／処置
SET NEW RIBBON PUSH [EXEC]	プリントカートリッジが正しく装着されていない。 → プリントカートリッジを正しく装着して、[EXEC] ボタンを押してください。 プリントカートリッジが終了した。 → プリントカートリッジを交換して、[EXEC] ボタンを押してください。
SET PAPER PUSH [EXEC]	ペーパートレイが装着されていない。 → ペーパートレイを装着して、[EXEC] ボタンを押してください。 プリントペーパーが終了した。 → プリントペーパーを入れて、[EXEC] ボタンを押してください。 給紙されていない。 → ペーパートレイを一度取りはずし、入れ直してください。

表示	原因／処置
MEDIA MISMATCH PUSH [EXEC]	プリントペーパーとプリントカートリッジの組み合わせが間違っている。 → 正しいプリントペーパーを入れて、[EXEC] ボタンを押してください。 エラー発生後に、発生前とは異なるサイズのプリントカートリッジを装着した。 → エラー発生後は、発生前と同じサイズのプリントカートリッジを装着してください。
PAPER JAMMING REMOVE PRINTS	プリントペーパーがつまっている。 → つまっているペーパーを取り除き、もう一度プリントしてください。(18 ページ)
REMOVE PRINTS PUSH [EXEC]	排紙口にプリントペーパーが残っている。 → ペーパートレイをはずしてプリントペーパーを取り除き、[EXEC] ボタンを押してください。
PRINTER ERROR PLEASE RETRY	プリンターのエラーが発生した。 → 電源を入れなおして、もう一度プリントしてください。
CARD FULL PUSH [EXEC]	記録メディアに空き容量がない。 → 十分な空き容量の記録メディアを挿入して、[EXEC] ボタンを押してください。
CARD LOCKED PUSH [EXEC]	SD カードに書き込み禁止の設定がされている。 → SD カードの書き込み禁止設定を解除し、カードを入れ直してから [EXEC] ボタンを押してください。
CARD ERROR PUSH [EXEC]	記録メディアに正しく書き込みできない。 → 記録メディアが正常か確認し、記録メディアを入れ直してから [EXEC] ボタンを押してください。
NO IMAGE DATA	記録メディアからプリントする場合に、プリントできる画像ファイルが記録メディアに見つからない。 コピープリントする場合に、内蔵メモリー内にプリントできるデータがない。
NO ID PHOTO DATA SELECT ID PHOTO	設定されている証明写真レイアウトのデータが見つからない。 → 証明写真レイアウトを選択し直してください。(22 ページ) → 拡張 SD カードに証明写真レイアウトが保存されているか確認してください。 → 証明写真レイアウトを保存した拡張 SD カードを挿入してください。

仕様

電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電流	最大 1.6 A
動作温度	10 ～ 35 ℃
動作湿度	20 ～ 80%（結露なきこと）
最大外形寸法	約 203 × 85 × 305mm （最大突起含まず） （幅／高さ／奥行き）
質量	約 2.7 kg（本体のみ）
プリント方式	昇華熱転写型
プリント解像度	403 dpi
プリント階調	YMC 各色 8bit（256 階調）処理
プリントサイズ	UPC-X34 シリーズ： 70 × 95 mm ± 2 mm UPC-X46 シリーズ： 102 × 152 mm ± 2 mm
プリント画素数	UPC-X34 シリーズ： 1,112 × 1,512 ドット UPC-X46 シリーズ： 1,664 × 2,440 ドット （ただし、左右上下各およそ 2 mm はプリントされません）
プリント時間	UPC-X34 シリーズ：約 65 秒 UPC-X46 シリーズ：約 100 秒 （ご使用になる条件によっては、プリント時間が異なる場合があります。）
入力端子	AC IN（電源入力用）
USB ポート（デバイス）	Hi-Speed USB（USB2.0 準拠）
USB ポート（ホスト）	USB メモリー用（1）
メモリーカードスロット	SD カード用（1） （SDXC には対応していません）
対応画像フォーマット	DCF 2.0 に準拠した画像ファイル ・ JPEG: JFIF 4:4:4, 4:2:2, 4:2:0（ベースライン JPEG） Exif 2.2.1 準拠（プログレッシブ JPEG およびグレースケール（8bit）JPEG には対応していません） ・ TIFF: Exif 2.2.1 準拠（RGB 非圧縮）
最大ピクセル数	JPEG: 横 8,000 × 縦 6,000 ピクセルまたは 縦 8,000 × 横 6,000 ピクセル TIFF: 横 8,000 × 縦 6,000 ピクセルまたは 縦 8,000 × 横 6,000 ピクセル
最大ファイル数	各記録メディア 9999 ファイル
付属品	ペーパートレイ（大／小各 1）

電源コード（1）
フェライトコア（1）
クリーニングカートリッジ（1）
ガイドラインシール（1）¹⁾
ワイヤレス LAN SD カード（2）¹⁾
CD-ROM（1）
ご使用になる前に（1）

1) ワイヤレス LAN SD カード同梱モデルのみ

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

別売り品

使用インクリボン／プリント紙
ラミネートカラープリントパック
10UPC-X34 シリーズ（300 枚）
10UPC-X46 シリーズ（250 枚）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。本機や付属のソフトウェア、記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により正常に動作しなかった場合のプリント結果や記録データの補償については、ご容赦ください。
- 故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

アフターサービス

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

Dai Nippon Printing Co., Ltd.